

令和6年度（2024年度）第3回宝塚市国民健康保険運営協議会 会議要旨

日時：令和7年（2025年）1月15日（水）

午後1時30分から3時00分

場所：宝塚市役所4階 政策会議室

報告1 宝塚市特定健康診査等実施計画(第3期)及び宝塚市国民健康保険データヘルス計画(第2期) 評価について

事務局から配布資料をもとに説明を行った。

<主な質疑・意見>

- (委員) 服薬適正化勧奨事業の対象の選定条件について
- (事務局) 相互作用、重複医薬品、6種類以上の医薬品を処方している方を対象とし、入院やがん等の治療を受けている方は対象外となる。
- (委員) 国民健康保険部門に配置されている保健師の人数が多いほど、全国の市町村で特定健診、保健指導の受診率が上がることがデータ解析で示されている。
- (事務局) 令和4年度から本市においても、国民健康保険課に保健師を配置している。今後も現体制を活用しながら、受診率の向上に取り組んでいく。

報告2 宝塚市高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

事務局から配布資料をもとに説明を行った。

<主な質疑・意見>

- (委員) 高齢化が進んでいく中、様々な取り組みをしていることは評価できる。フレイル予防について、市民が意識的に取り組んでいけるよう、パンフレット等での周知を強化してほしい。
- (委員) フレイル予防をただ支援されるものとして啓発するのではなく、住民の方自身が主体的にフレイル予防を啓発できる仕組みづくりが必要であると考え。予防の啓発を主体的に推進していくリーダー的な住民を作るような取組を実施しているか。
- (事務局) 高齢福祉課において「介護予防サポーター養成講座」を実施しているが、住民が主体的に組織化し、フレイル予防を啓発している取組は現状ない。今後、そのような視点も取り入れていけるよう検討していく。
- (委員) 介護部門と保健部門、福祉や地域包括など同様の話題をそれぞれがやっているケースがあるため、共同してやっていくことで効率化よく地域の繋がりも構築できると感じた。
- (事務局) 関係課5課で連携会議を実施している。地域支援事業や介護予防を実施している高齢福祉課や介護保険課も入っているため、効率の良い事業体制も連携会議を通じて構築していく。

議題1 令和7年度の国民健康保険事業の財政運営について

令和7年度国保事業費納付金の本算定結果を受け、宝塚市国民健康保険事業の財政運営について審議を行った。また、国保新聞（令和6年12月20日付）に掲載されていた令和7年の通常国会に被用者保険の適用拡大策を改正法案に盛り込む内容について説明を行った。

<主な質疑・意見>

- (委員) 令和7年度予算については、基金の取り崩しが約4億5千万円予定されている。
- (事務局) 決算と比較し、大きく増えているが、予算上はそれぐらいの基金の取り崩しが必要であると考えている。
- (会長) 国保新聞に書かれている内容については、国民健康保険に加入している人が少なくなるという理解で合っているか。

- (事務局) 被用者保険の対象範囲を広げる内容であり、それに伴い全国で110万人の国民健康保険の被保険者が減少する見込み。この改正により、保険税を比較的多く支払っていた世帯の方が抜けていくことになるため、国保の財政状況が更に厳しくなることが予想される。
- (委員) 国保の被扶養者が110万人減った場合、標準保険料率はどれくらい上がる見込みなのか。
- (事務局) 国保から社会保険に移る人数や改正による計算がどのようになるか等が不明であるため、現状では計算できない。
- (委員) 政策によって、支援金等も変わってくる可能性があるため、シミュレーションは難しいのではないかな。
- (事務局) 日本全体でも高齢化が進んでおり、後期高齢者の負担分や介護保険の負担分は確実に上がっていくと思われるが、頻繁に改正を行っており、どれほどの負担額が増加するのか読めない。その他の不確定要素も多く、先の見通しが立てれないため、現状出ている数字でしかシミュレーションを行うことはできない。
標準保険料率も統一化の議論を始めた際に県から提示された料率では、本市の現行税率と比べて、少し下げる必要がある数値であった。現在、提示されている料率では、現行税率から少し上げる必要があるものの、そこまで乖離がない状況となっている。
- (会長) 前回の書面会議と今回の2回にわたって議論された内容を踏まえ、答申案を作成する。第4回協議会にて、作成した答申案を委員の皆様にご確認をさせていただく。

事務局より、今後の運営協議会の日程について説明。

<今後の日程>

第4回 令和7年1月24日

主な内容 令和7年度の国民健康保険事業の財政運営について（答申）

- (会長) 協議会はこれで終了する。